

認知症作業療法 活動報告（概要）

滋賀県作業療法士会では、認知症アップデート研修、事例検討などの研修による人材育成と、認知症支援にかかる市町との連携、県士会員への情報発信を**2018年度計画**として活動を行っている。また、認知症の人と家族会と連絡を取り合い、今後協働していただけることを検討中。

近畿作業療法士連絡協議会では、**OT協会**の主要事業をもとに認知症支援チームでの情報共有、研修会の開催を引き続き開催している。

人材育成（認知症専門研修）事業

2017年度からはアップデート研修を中心に研修事業を実施している。アップデート研修の必須カリキュラム＋特別講師による特別講演を県士会員の**1/2**の受講を目標に年**2回**開催。**2017年度**は**92名**、**2018年度**は**1回**開催を終え**18名**（うち**2名**は**2017年度**受講済）の参加となっている。今年度は同内容でもう**1回**開催予定。（全会員数 **454名**）

また、**GP**の集積ができるよう、事例検討、**GP**のまとめ方などの研修を企画中。



認知症の人と家族の会との連携

今年度は滋賀県士会として初めて、認知症の人と家族の会と連絡を取り合い、連携について考える機会をもった。家族会の方は電話相談員の研修で埼玉県士会の講演を聴き、作業療法士会と何かしたいと思ってくださっており、そのタイミングでの連絡でとてもタイムリーなものとなった。

その後の活動計画はまだ立っていないが、研修会の共催や、認知症カフェ、認知症支援にかかわるイベントでのボランティア協力、認知症支援に関わる研修会での講師派遣などできることがありそう。

近畿連絡協議会 認知症支援チーム

近畿**2府4県**での認知症支援にかかる情報共有と、年**1回**セミクロードでの研修会を開催。今年度は**12月**に小川先生、長倉先生に協会の目指す認知症作業療法の方向性をお話いただき、各士会の理事にも参加いただき、それぞれの認知症支援部会と理事で各士会での役割を話し合う予定である。

市町との連携

2016年度より滋賀県と県内**3士会**設置の地域ケア推進員による、人材育成や認知症支援に限らず、地域ケア会議や介護予防事業等、リハビリテーション専門職の派遣事業が少しずつ整備されている。**3士会**においても、各市町においても、それぞれ動きが違い、まずは現状把握が必要。

今後の展開

- ・ 認知症の人と家族の会との連携
- ・ 市町へのリハビリテーション専門職の関与、ニーズについての把握
- ・ **GP**の集積